

下水道工事での事故を踏まえた公共工事の安全対策検討委員会

(第3回)

開催結果概要

議事概要

株式会社フランクリン・ジャパン及び株式会社東京建設コンサルタントから民間企業における提供サービスについて、神奈川県労働局から外国人労働者とのコミュニケーションについて説明が行われたのち、事務局からの公共工事の安全対策の説明を踏まえた意見交換が行われ、主に以下の意見が出された。

- 今回の事故の発生に関連する要因を大きく4つに区分し、事故につながる背景を含めて考慮がなされ、下水道工事全般に適用できる事故の再発防止に向けた対策が体系的に整理されている。
- 今回の報告書の対策案を実務に落とし込む中で、様々な創意工夫を凝らした具体的な対策が出てくることを期待したい。
- 事故当日のアメダスの気温や風速の記載について、降雨に併せて急激な気温の下降や突風という、発達した積乱雲の発生時に生じる特徴が出ていることとして、報告書へ記載してはどうか。
- 中止基準を明確に定めるということだが、再開基準も併せて検討すること。

○施工者によっては、体制や能力に違いがあるため、市が適切に指導していくことが必要。

○今回の委員会を通じて紹介いただいた民間のサービスも取り入れながら、より良い工事施工に結び付けていただきたい。

など